

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社広島銀行（証券コード:8379）

### 【変更】

長期発行体格付	A +	A A -
格付の見通し	ポジティブ	安定的
債券格付	A +	A A -
発行登録債予備格付	A +	A A -

### 格付事由

- 広島市に本店を置く資金量 7.3 兆円の地方銀行。広島県のリーディングバンクとして県内に強固な事業基盤を有するほか、隣接する岡山、山口、愛媛においても法人融資を中心に事業展開している。貸出資産の質の改善が進んでいるうえ、市場部門においても過度なリスクテイクはみられず、リスク量対比でみた資本の余裕度は AA レンジとして遜色ない水準を確保していることを踏まえ、格付を 1 ノッチ引き上げた。他行と同様にマイナス金利政策の影響などにより収益力の低下は避けられない見通しだが、恵まれた地盤を背景とした貸出残高の増加と非金利収益の強化などにより収益にかかる下方圧力を緩和させることは可能と JCR はみている。
- 17/3 期のコア業務純益は、利ざやの縮小を主因に前期比 2 割程度減少する見通しである。ROA（コア業務純益ベース）は 17/3 期上半期 0.4% 台前半まで低下しているが、投資信託の解約益などの一過性とみられる利益が含まれていないことを勘案すると、他の地銀との比較であれば良好な水準にある。エリア推進体制の定着、成長分野への取り組みや事業性評価の推進などにより貸出残高は中小企業向け貸出、個人ローンを中心に増加基調にあり、かつ比較的高い増加率を維持している。また、得意とする法人向けフィービジネスや預り資産販売などを一段と強化することなどにより、コア業務純益の減少幅が拡大していく可能性は低い。
- 金融再生法開示債権比率は 16 年 9 月末 1% 台前半と低く、分類率も抑制された水準にある。与信費用は低位に推移しており、要注意先債権にかかる保全状況などを勘案すると今後も急増する可能性は低い。船舶関連の貸出は全体の 1 割と比較的大きく、大口与信先には外航海運業向けが散見されるため、海運市況の低迷に伴う影響を注視する必要はある。しかし、融資対象としている船主は手元資金に厚みがあり、為替変動に対する耐久力の強い先が多いことから、ただちに貸出資産の質が大きく悪化する可能性は低いとみられる。有価証券運用では円市場金利が低位に推移するなか、外貨建債券や投資信託への投資拡大などにより利回りおよび収益を確保している。もっとも、資本対比でみた国内外債券の金利リスク量や投資信託残高はさほど大きくなく、市場部門にかかるリスクは総じて管理可能な水準にある。
- 適格旧 Tier2 資本などを控除した調整後の連結コア資本比率は 16 年 9 月末 10% 台半ば。最終利益が連続して過去最高を更新するなど、ここ数年で内部留保の蓄積が進んでいる。

（担当）宮尾 知浩・南澤 輝

### 格付対象

発行体：株式会社広島銀行

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 13 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2007 年 11 月 28 日	2017 年 9 月 20 日	1.89%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	3,000 億円	2016 年 1 月 8 日から 2 年間	AA-

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2016 年 12 月 22 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「銀行等」（2014 年 5 月 8 日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 株式会社広島銀行
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

#### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であることを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

#### 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

#### NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

#### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル